

令和6年度 自己評価結果公表シート

富高幼稚園

1. 幼稚園の教育目標

○幼稚園の目標 子どもの「自立」と「共生」の心を育む ○上記目標達成のために 「健康な体」「豊かな心」「考える力」の育成に努める

2. 本年度に定めて重点的に取り組むことが必要な目標や計画をもとに設定した幼稚園評価の具体的な目標や計画

重点的に取り組むことを目標にした幼稚園評価の具体的な目標 1. 遊びを中心として子供たちが伸び伸びと活動する教育の充実に努める。 2. 規範意識や思考力の育ちなどに関する指導の充実に努める。 3. 幼児の家庭での生活経験に配慮した基本的な生活習慣の育成を図る。 4. 安心して安全な幼稚園を保障するための取り組みに努める。 5. 幼稚園と小学校との連携を推進する。 6. 地域交流、異世代交流、国際交流等豊かな体験活動の充実に努める。

3. 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	結果	理由
(1)教育活動の充実	A	クラスでの話し合いの時間（サークルタイム）の充実に努め、子どもたちの姿や意見から保育や保育環境の設定を行った。同時に十分な自由遊びの時間の確保を行い、子どもたちの遊びに深まりや広がりが見られた。
(2)道徳指導等の充実	A	ピーステーブル（子ども同士の話し合いの席）を準備し、「互いの気持ちを知る」ことに重点を置いて指導してきた。自発的にピーステーブルに向かい問題解決に向かう姿も見られ、成果を感じている。
(3)基本的な生活習慣	B	改めて生活習慣を見直し、視覚的環境調整も行いながら取り組んできた。お便り・面談等を通して家庭での生活習慣を整える事の大切さについて発信し、家庭との共通理解を図ったが、引き続き努力が必要である。
(4)安心して安全な幼稚園	B	怪我が起きた際には、取り扱いやルールについてあらゆる角度から職員間で話し合い、環境調整を行ってきた。預かり保育時に起きた災害時の避難も職員間で連携し迅速に避難でき成果を感じられた。
(5)小学校との連携	A	夏と冬2回の公開保育を行い、校区内の小学校の先生方にも園の保育を見て頂き、幼児教育の環境を知って頂けたと感じている。意見交換会・参観にも積極的に参加した。
(6)豊かな交流体験の充実	A	異年齢交流についてのねらいを職員間で明確にし、これまでの取組を見直しながら取り組んできた。又、お店屋さんごっこの準備を通じて地域の商店などを見学させてもらうなど、地域との繋がりを意識した保育を取り入れた。

4. 幼稚園評価の具体的な目標や総合的な評価結果

結果	理由
A	子どもたちの姿や意見から考えた、コーナーの設置と環境が定着し子どもの遊びの姿に変化が見られた。主体性保育を考える中で「安全」・「生活習慣」・「交流保育」等、総合的にこれまでの取組を一つひとつ見直すことが出来た。公開保育をきっかけに、主体性保育についての職員間の意識が全体的に高まったと感じている。

◎「3、4」の評価結果の表示方法

A	十分達成されている
B	達成されている
C	取り組まれているが成果が十分でない
D	取組が不十分である

5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取組方法
(1)教育活動の充実	コーナー遊びの環境の継続と、主体性保育に伴う行事の見直し。
(2)道徳指導等の充実	職員間の共通理解や語り合いの時間の確保。
(3)基本的な生活習慣	保護者への発信と、家庭との密な連携。（特にスマートフォンなどのメディアとの関わり方や、発達に応じた適切な睡眠時間の確保等）
(4)安心して安全な幼稚園	災害・保育中における事故怪我についての危機管理能力を高める為の研修。
(5)小学校との連携	互いの教育を知る為の、積極的な交流・公開保育。
(6)豊かな交流体験の充実	地域の資源の活用と、ねらいに基づいた異年齢保育の見直し。